

公立大学法人長岡造形大学 令和5年度第3回経営審議会議事概要

1 日 時 令和6年3月22日（金曜日）
午後1時30分から午後3時00分

2 場 所 新潟県長岡市千秋4丁目197番地
長岡造形大学 第2会議室

3 出席者

委員	佐々木 順子（議長）	河村 正美	久島 芳尚
	佐藤 勝弥	高野 真規	馬場 省吾
	原 和彦	丸山 結香	渡邊 誠介
監事	高橋 賢一	長津 和彦	

4 議 事

（審議事項）

(1) 第1号議案 令和6年度公立大学法人長岡造形大学年度計画について

第2号議案 令和6年度公立大学法人長岡造形大学当初予算について

事務局から、令和6年度公立大学法人長岡造形大学年度計画について及び令和6年度公立大学法人長岡造形大学当初予算について、資料に基づき説明があり、全員異議無く可決した。

なお、審議の過程において、各委員から以下のとおり意見、質問があった。

・佐藤委員から、年度計画の資料を作成するにあたり、前年度からの変更点や当該年度の重点項目について記載方法を工夫したり、指標についても前年度からの増減を示したりすることで分かりやすい資料にしてもらいたいとの意見があった。

・高野委員から、在学生によるティーチングアシスタントの登用について、どのような役割を果たしているのかとの質問があり、渡邊委員及び事務局から、類似授業をすでに受講した先輩学生が、授業補助に入ることによって学生の視点でアドバイスをするといった役割を果たしているとの回答があった。また、今後は基礎授業に限らず、より専門的な授業にも取り入れていきたいとの回答があった。

続けて、専門教員の女性割合を改善するための女性限定公募を行う際の目標数値等の設定があるのかとの質問があり、馬場委員から、現在の目標として採用者数の30%以上を女性とする目標があり、段階的に女性教員の在籍数を増やしていきたいとの回答があった。

続けて、教育活動の改善のために分析ツールを用いて教育成果の検証を行うことについて、どのようなことを実施するのかとの質問があり、渡邊委員から、学生が教員に対しての授業評価を行うことに加えて、学生自らが自身の学修成果を振り返り、自身の成長を実感できるような自己点検を行うことで学生と教員を双方向から分析するものであるとの回答があった。

・丸山委員から、地域貢献の成果における指標の目標値について、受講者数だけでなく、アンケートによる満足度の結果を目標値の指標に加えてはどうかとの意見があった。

続けて、業務運営の改善に関する目標を達成するための措置として、働きやすい職場にすることは当然のことながら、教職員が活躍できる、働きがいのある職場であることについても改善項目として加えてもらいたいとの意見があった。

・長津監事から、国際化について毎年同程度の目標であることから、もう少し力を入れてみてはどうかとの意見があり、馬場委員及び渡邊委員から、年々留学する学生が増えてきていることに加え、留学に関する補助制度においても、数ある大学から本学が選ばれて補助金を獲得しており、留学する学生の質の高さも担保できているとの回答があった。また、外国人の入試志願者が増えてきていることもあり、少しずつではあるが国際化が進んでいるとの回答があった。

(2) 第3号議案 令和7年度採用 専任教員の採用募集について

事務局から、令和7年度採用 専任教員の採用募集について、資料に基づき説明があり、全員異議無く可決した。

(3) 第4号議案 長岡造形大学学則の一部改正について

事務局から、長岡造形大学学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、全員異議無く可決した。

(4) 第5号議案 公立大学法人長岡造形大学職員給与規程の一部改正について

事務局から、公立大学法人長岡造形大学職員給与規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、全員異議無く可決した。

5 全体質疑

高野委員から、学位記授与式及び入学式の出席者の配席について、出席者からの意見等を確認して、より良い配席になるように検討してもらいたいとの意見があった。

丸山委員から、卒業・修了研究展において、多くの素晴らしい作品が展示されているが、学内施設に不案内な一般来場者にとっては、わかりにくい展示場所もあるため、もう少し一般来場者にもわかりやすい展示にしてもらいたいとの意見があった。

(報告事項)

事務局から、配付資料に基づき以下の項目について報告を行い、異議なく了承した。

- ・専任教員の昇任及び大学院担当について
- ・令和6年度造形学部専任教員の採用予定者について
- ・2024年度長岡造形大学入学試験結果について
- ・教員、学生等の主な受賞について
- ・NTT 東日本と本学との連携協定の締結について